

「命どう宝」を心に刻み、沖縄で学び交流し、平和の力を広げよう

日米軍事同盟打破・基地撤去 2007 年日本平和大会 in 沖縄を 大きく成功させましょう

2007 年 7 月 31 日

日米軍事同盟打破・基地撤去 2007 年日本平和大会実行委員会

11 月 23 日～25 日にかけて米軍基地の集中する沖縄で、日米軍事同盟打破・基地撤去 07 年日本平和大会が開催されます。憲法改悪など「戦争する国づくり」に反対し、その根っこにある日米軍事同盟と米軍基地に反対する世論を広げる日本平和大会は、いよいよ重要になっています。平和を守る多彩な運動をくり広げ、全国から多くの代表を送り出し、大きく成功させましょう。

参院選挙は、安倍政権与党が歴史的な大敗北をし、参院では野党が過半数を占める状況が生まれました。ここには、くらし破壊や政治と金の問題への批判とともに、侵略戦争に無反省で、憲法改悪、米軍基地強化はじめ「戦争する国づくり」に暴走する安倍政権への国民の不安と批判の広がりが反映しています。国民の願いと違う方向への暴走をなんとかして欲しいとめたい その思いが爆発したのです。この政治的激動のもと、国民の平和の願いを実現する新しい状況が生まれています。

世界の平和の流れをみても、日本政府の異常さはきわだっています。米ブッシュ政権の大義なきイラク戦争は泥沼化し、内外で米軍の撤退を求める世論が高まっています。ところが安倍政権は、イラク戦争を支持して自衛隊の派兵を続けるとともに、11 月に期限が切れるテロ特措法を延長しようとしています。一方、朝鮮半島の非核化と北東アジアの平和をめざす「6 者協議」も前進しています。安倍政権がこの協議に参加しながら、「北朝鮮有事」を想定した戦争体制づくりをすすめているのは、その努力の妨げになるものです。

こうした安倍政権の憲法改悪・米軍基地強化・「戦争する国づくり」の暴走を、さらに大きな世論で追い込み、自衛艦をインド洋から撤退させましょう。「戦争する国づくり」の根源にある日米軍事同盟に反対する世論と運動を大きく広げましょう。そしてこうした全国のとりのくみを 07 年日本平和大会 in 沖縄に総結集しましょう。

沖縄は日本で最も米軍基地が集中し、いま辺野古や高江での新基地建設反対など、住民のいのちとくらしをかけたたたかいがくり広げられています。沖縄はまた悲惨な沖縄戦を経験し、平和と命の大切さを胸に刻む反戦平和の地です。いま沖縄では、沖縄戦での日本軍による「集団自決」強要の事実を消そうとする政府の動きに対し、県民ぐるみの抗議運動がまきおこっています。家族同士で殺しあう地獄をしいられた県民が、どうしてこれを許せるのでしょうか？

この沖縄の地でしっかりと戦争の真実を学び、憲法を守り、米軍基地強化、自衛隊の海外派兵など「戦争する国づくり」を許さないたたかいを交流し、運動を発展させましょう。

大会はまた平和を守り米軍基地に反対する国際連帯を広げる重要な場です。今年 3 月には、南米エクアドルで史上初の外国軍事基地撤去国際大会が開かれ、40 カ国の代表が集まり連帯を強める宣言を発表しました。沖縄の平和大会で、世界の人々とともにこの国際連帯をいっそう広げましょう。

昨年の平和大会に参加した青年は、「大会で私の中での平和への思いが変わりました。私と同じように、1 人でも新しい一歩を踏み出す人が増えていくよう努力していきたい」と、その感動を語っています。青年にとって沖縄での平和大会は、かけがえのない平和の学びの場です。青年をはじめとして全国から多数の参加者を送り出し、新しい平和の力を育てましょう。そして、憲法と平和を守り、米軍基地も軍事同盟もない日本をつくるあたらしい展望を切り開いていきましょう。